

景観計画(素案)について紹介します -方針編-

I 基本理念 「下田まち遺産を未来へ」

今あるまち遺産を絶やすことなく、
新たな「まち遺産」を創り出し、
未来へつなげていきます。

景観計画対象区域

市域全域を景観計画
の対象とします。



景観計画対象区域

景観誘導ゾーン

下田まち遺産が特に多い地域を
景観誘導ゾーンとします。

景観重点地区

特に貴重な下田まち遺産
が集積している地区を景
観重点地区とします。

III 景観重点地区

■ 方針 ■

景観誘導ゾーンの中で特に貴重な「下田まち遺産」が集積している地区を、景観重点地区として、より一層の維持、保存を推進していきます。

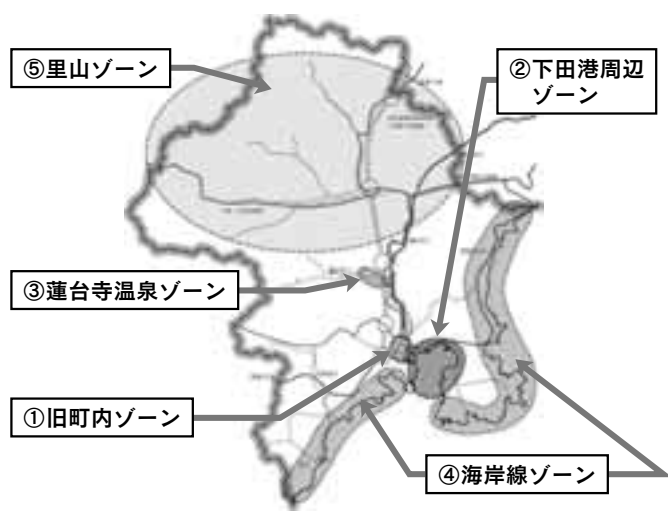
■ 重点地区の景観形成の目標・方針 ■

- ペリーロード沿道地区の目標
ペリーが歩いた幕末の歴史を思い起こさせるまちなみの形成
 - 雑忠家・旧南豆製氷所周辺地区の目標
太鼓橋を演出するまちなみの形成
- ### ■ 重点地区の景観形成の目標・方針 ■
- 景観形成の方針（共通）
 - ・なまこ壁・伊豆石造りの建造物については、保存・活用を進めます。
 - ・建築物等については、なまこ壁・伊豆石造りの建造物との調和に配慮した意匠形態・色彩等とします。
 - ・電柱等の工作物については、歴史的なまちなみを壊さないように配慮します。
 - ・稲生沢川や平滑川等の水辺と一体感のあるまちなみとします。

II 景観誘導ゾーン

■ 方針 ■

“下田まち遺産”が特に多い5つの地域を「景観誘導ゾーン」として、市民の人々の理解と協力のもと、まち遺産の維持・保存・創出を積極的に推進していきます。



■ 各ゾーン景観形成の目標 ■

- ①旧町内ゾーン
数百年の伝統と市民の熱き思いを継承し、まちの活気を維持・向上していくため、下田太鼓祭りが似合うまちなみを形成していきます。
- ②下田港周辺ゾーン
物流・漁業の玄関、観光の拠点として、下田港周辺の魅力を高めていくため、歴史ある港を感じられる景観、港を演出するまちなみを形成していきます。
- ③蓮台寺温泉ゾーン
千数百年に及ぶ歴史、古くからの温泉地としての魅力を大切に、下田の宿泊拠点として活性化していくため、昔ながらの湯治場的な情緒あふれるまちなみを形成していきます。
- ④海岸線ゾーン
海と深い関わりのある暮らしを大切に、マリンスポーツ・マリンスポーツのメッカとしての活気にぎわいを維持・増進していくため、白い砂浜や美しい海岸が映える海辺と漁村景観を形成していきます。
- ⑤里山ゾーン
人々の暮らしと自然が共存しつつ、都会の人々にとって魅力的な地域としていくため、里山・水辺・田園が織り成す農村景観を形成していきます。

郷土工芸品 「下田脂松細工」の魅力

昭和55年に静岡県郷土工芸品に指定された「下田脂松細工」は、黒松の中でも脂分（松ヤニ）の多い部分を使用して作る木工芸品で、そのルーツは、江戸時代末期にさかのぼります。



下田脂松細工嶋崎家の三代目指物師 嶋崎繁明氏

「下田脂松細工」の匠、嶋崎繁明氏を訪ねて黒松を原料とする脂松細工の魅力についてお話を伺いました。

嶋崎氏「黒松の難しさは逆目が強いこと。それでも松は木目がきれいなんですよ。木工芸品には檜や杉など色々な素材が使われますが、黒松というのは全国的にも珍しいんです。また、指物は、わずかに寸法が狂うだけで組み合わせがなくなるため、力加減をみながら細心の注意を払って製作していきます。」



実際に、対になった銘々皿を見せていただきました。嶋崎氏「見る角度によって色や模様が違うのがわかりますか。」

手にとって眺めてみるとある角度では黄色色、またある角度では青色というように銘々皿の色や模様が変化して見えました。

嶋崎氏「これは木じゃないとお客さんに言われました。木でこうした木目や薄さ、色合いが出ると思っていなかったのかな。」



熟練の技と確かなまなざしによって、日常に華をそえる逸品に仕上がります。

次に工房にて弁当箱の製作工程を見せていただきました。昔と変わることなく一つ一つ手作業で丹念に作品が仕上げられていきます。

嶋崎氏「なかなか思うようなものはできないですよ。5つ作って1ついいものができるかな。」

皆さんも郷土下田の誇る工芸品を、ぜひ一度お手にとつてゆつくり眺めてみてください。作品は、嶋崎さんの工房兼展示場でご覧になれます。

【下田脂松細工 しまざき】
（下田市大賀茂1057-2）
堀切バス停から徒歩3分
静岡県郷土工芸品とは
その製造技術・技法が50年以上の歴史を有し、日常生活に用いられるものが対象です。

伊豆地域では、下田脂松細工と熱海桶細工が指定されています。

問合せ先 産業振興課
☎22211

あなたは紹介できますか？ 下田の観光の見所！

下田市及び下田市観光協会では、観光接遇研修として、「下田おもてなしプログラム」を開催しています。

この研修は、年々変化している下田の観光資源を体験・確認してもらい、今の下田の観光に対する知識を身につけてもらうことを目的としています。主として観光業従事者を対象とした研修ですが、一般の市民の方の参加も広く募集しています。

下田おもてなしプログラム
開催日時 2月19日(木)
午前8時40分～午後4時
集合場所 道の駅開国下田みなと4階会議室1
研修内容 講習及び市内外の観光施設及びイベント等の見学
・下田観光ミニ検定
・講習会おもてなしについて
・観光施設等見学（ハーバーミュージアム、みなみの桜と菜の花まつり、了仙寺、宝福寺、吉田松陰寓居処、上原近代美術館、上原仏教美術館）
見学施設は変更の場合あり。

参加費 無料（昼食は各自負担）



了仙寺で黒船来航当時の資料の説明を受ける参加者

担。まちあるきマップ掲載店を利用していただきます。）
申込締切 2月17日(火)
備考 市外にお住まいの方の参加も可能です。
今年1月の研修から一般市民も対象に
1月14日に一般市民も対象とした研修を初めて開催し、11名の方が受講されました。知っているようで知らなかった下田の観光を再認識する機会として、多くの参加者の方々から好評を頂きました。

ぜひ皆さんもご参加いただき、下田の魅力の「語り手」になってください。

申込・問合せ先
観光交流課 ☎23913